

目
生

く
す



十

ミ
タ

3



ore no imouto ga
konnani kawaii
wake ga nai

フジヤシ春
Hal Fujibayashi

成年向け

3



日
生

く
た



十

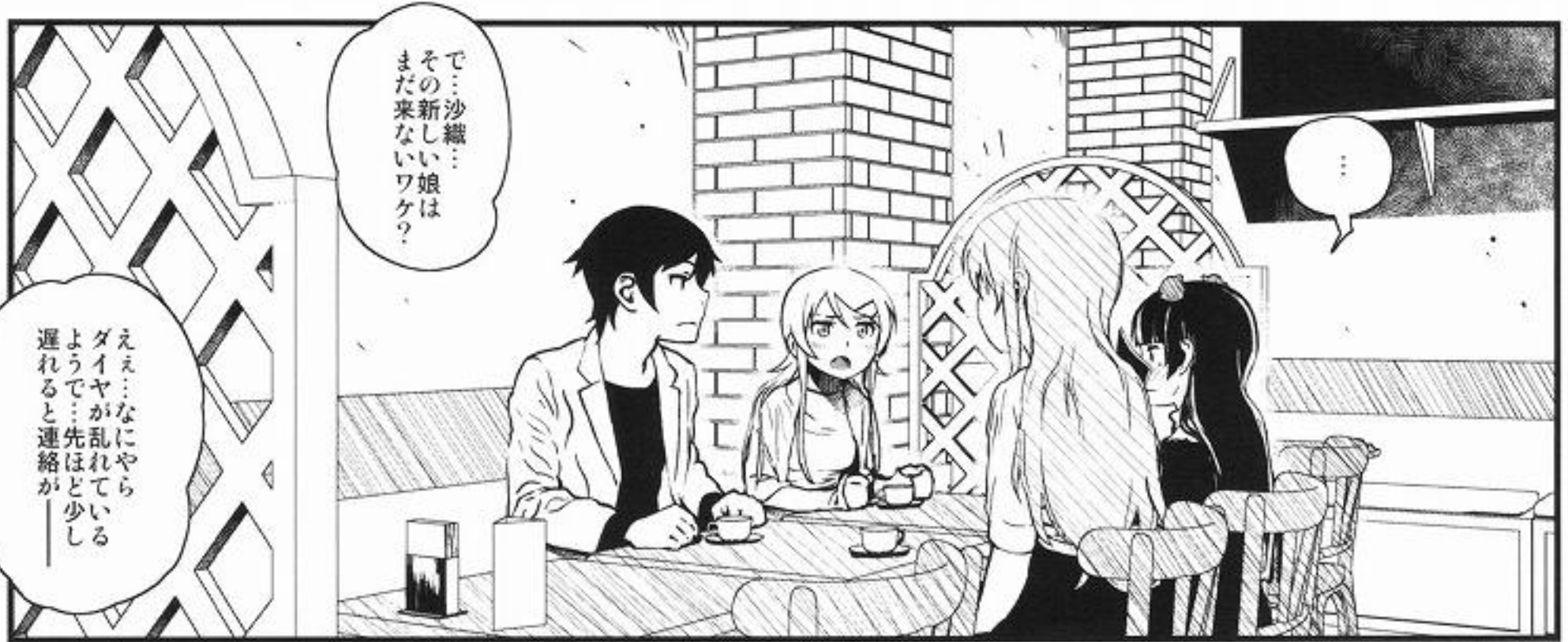
三
ア

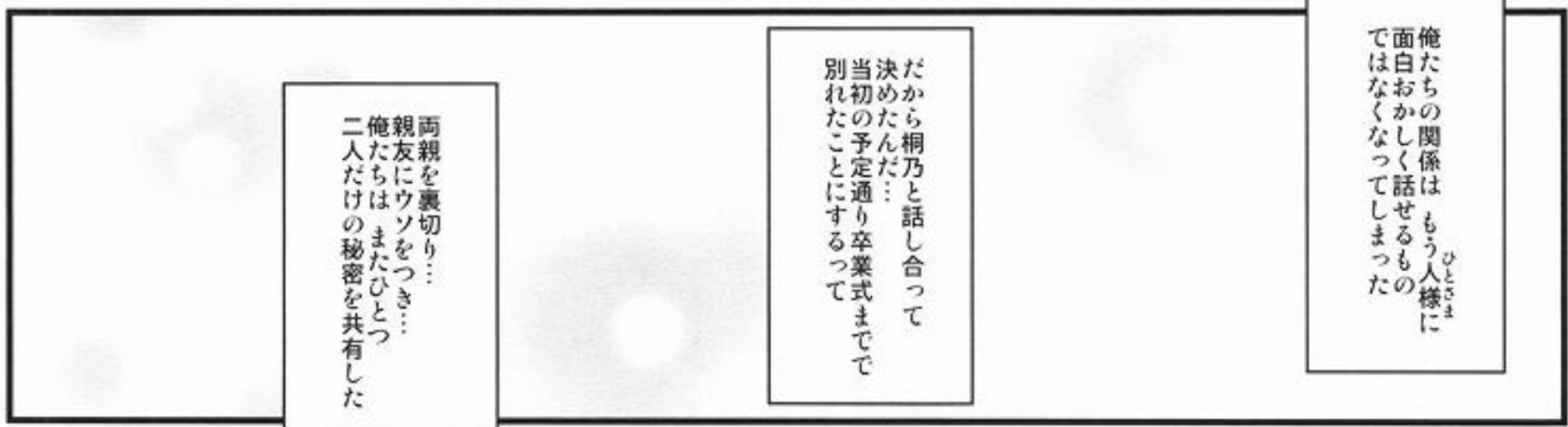
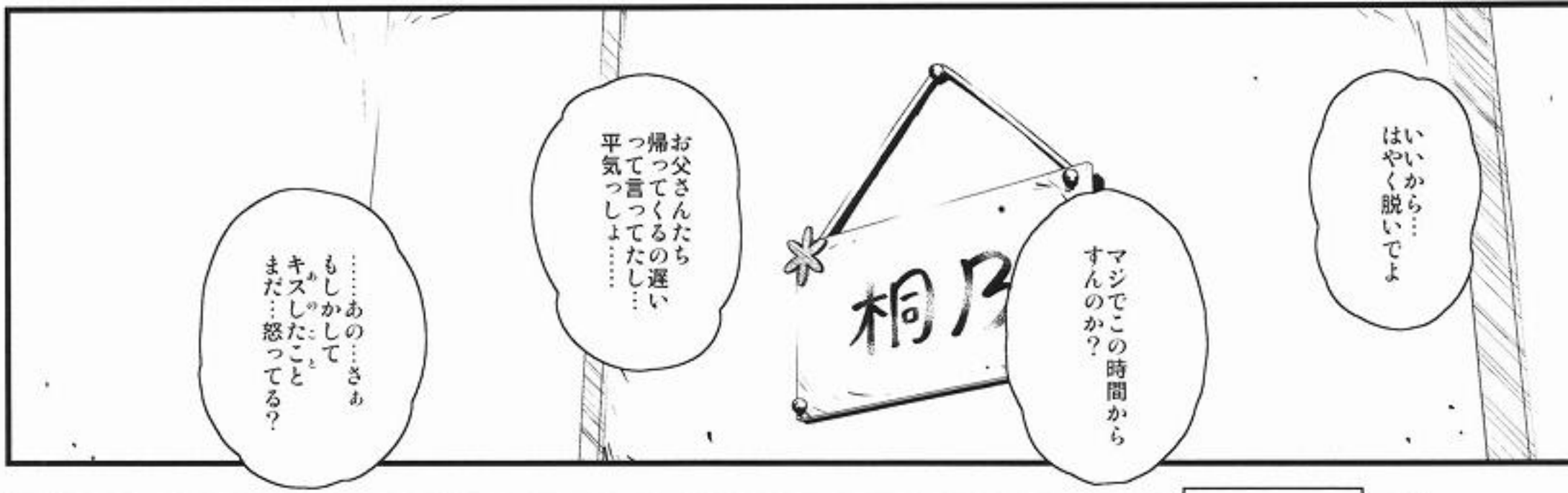
関係を持ち続けると決めた俺たち兄妹が
その後どうなったのか……
今回はそれを語っていかうと思う

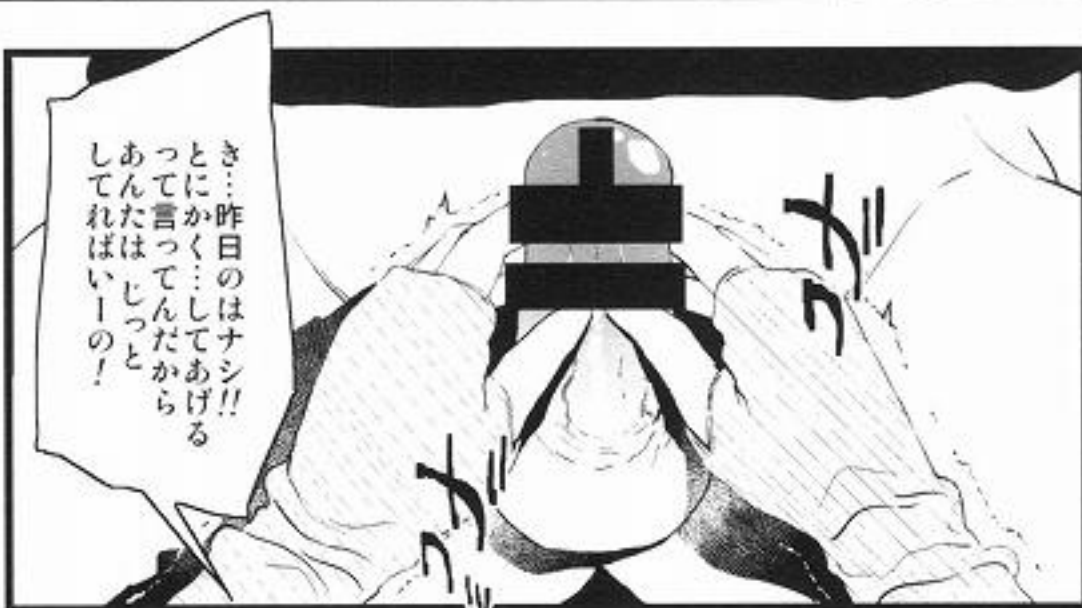
つってもなにか特別なことをしたわけじゃない
全てを捨てて駆け落ち……なんてやっばり無理だしさ
親父とお袋にバレねえように関係——
って言い方はまどろっこしいな
俺たちはただ……セックスを繰り返していた
そんな折に沙織から連絡があったんだ

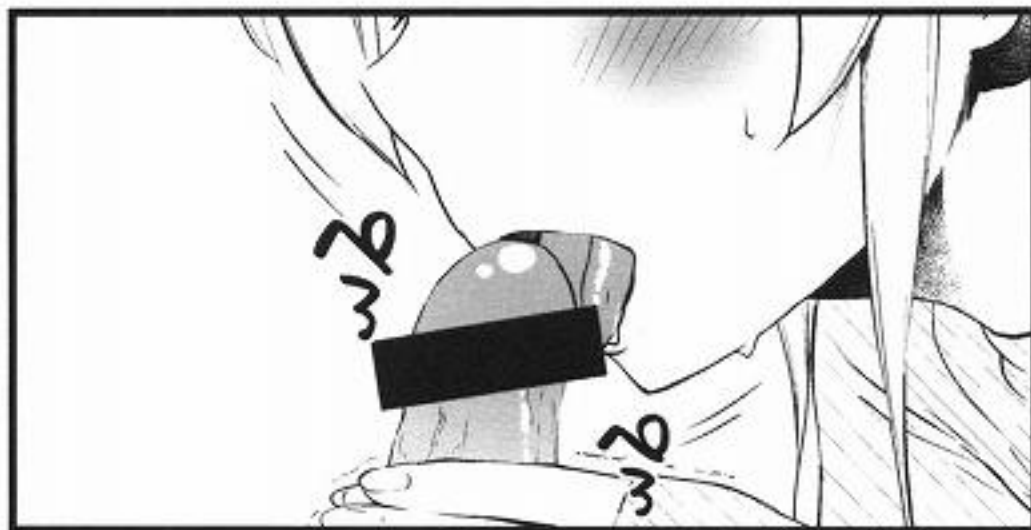










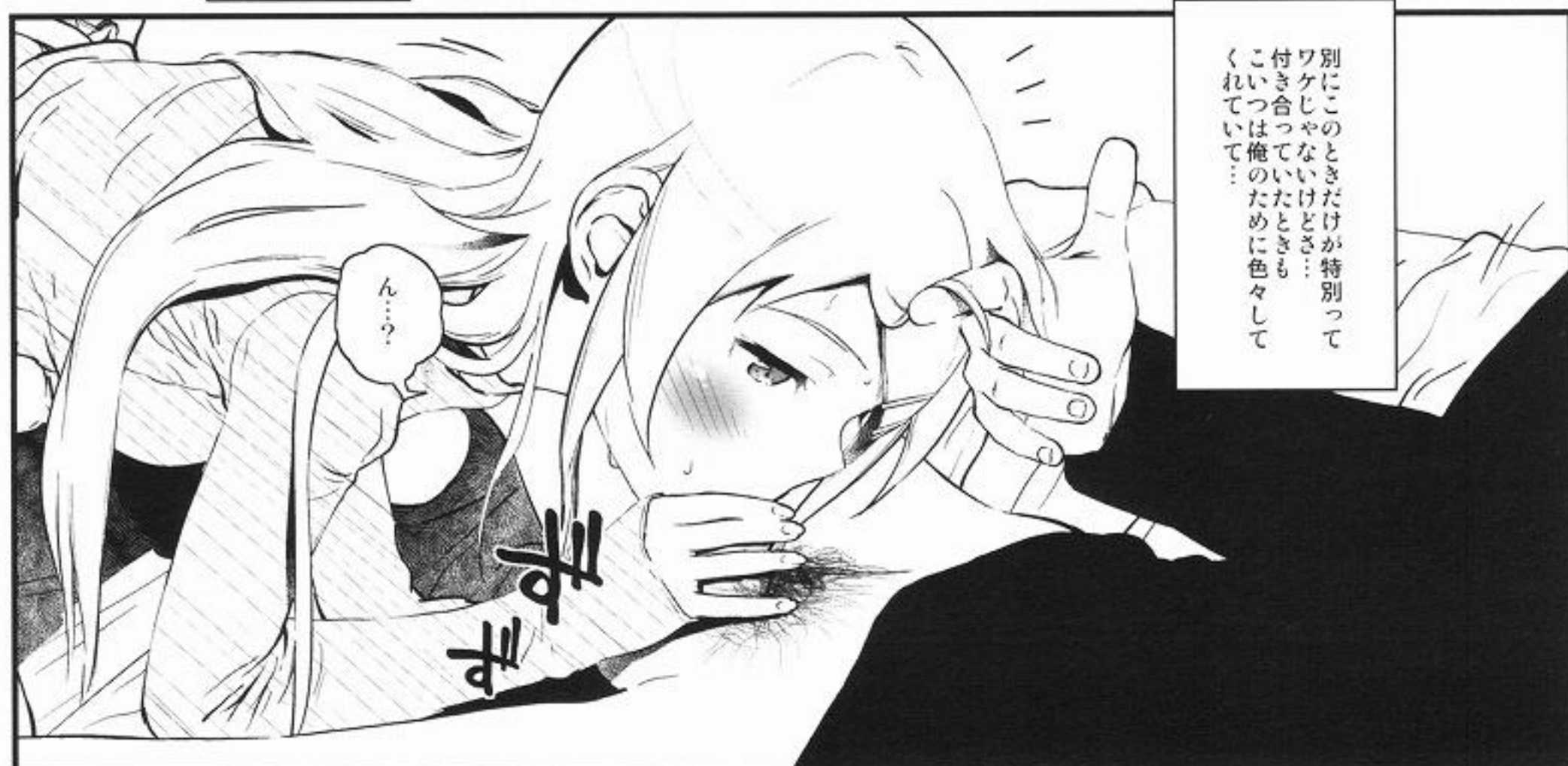


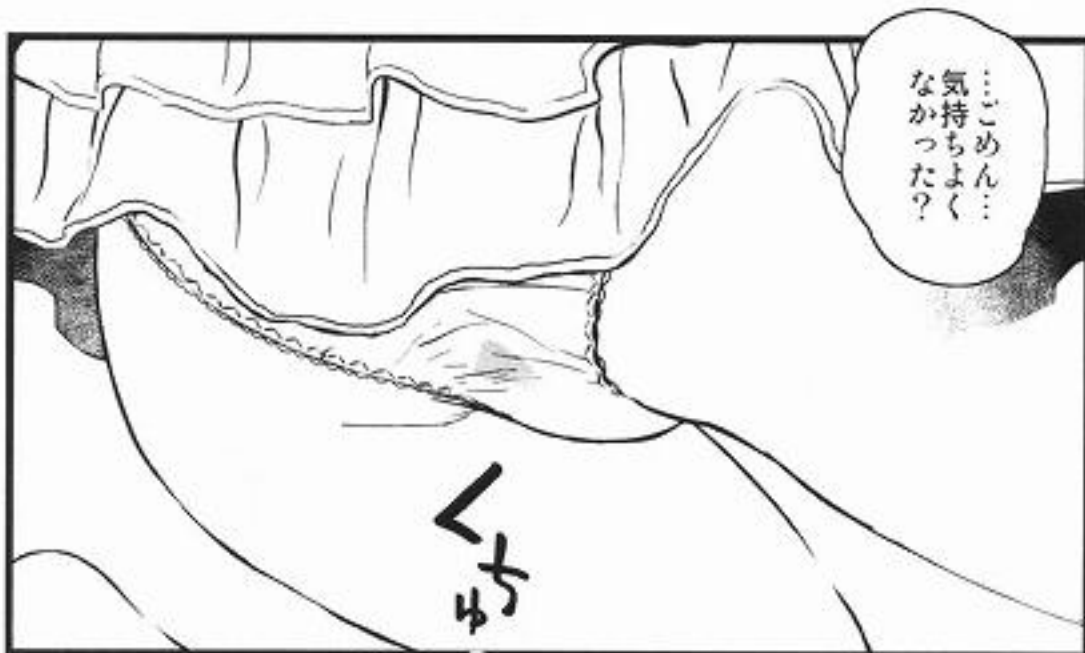
『どうすればいいのかわからない』
『ってのが手に取るように伝わってくるんだよ』



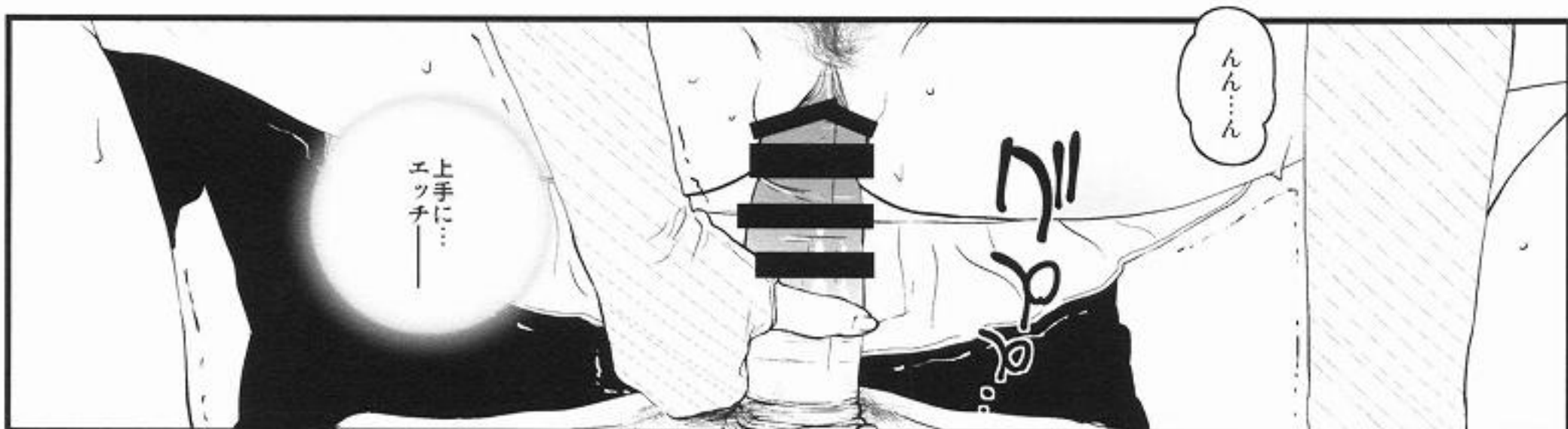
このときも頭だけ動かせば良いのに腰まで上下しててさ...

その様は
さきこちなくて...
不恰好で...
でも











一生懸命に腰を上下させる
桐乃のうしろ姿を見ながら
いつかの黒猫との会話…

んっ

は…ん

ん…

んっ

んっ

んっ…



あの女に恋人が
できたら…
きつと夢中にな
るのでしようね—
いつものように

俺もそう思っていた…
一心不乱に恋愛を
頑張ってた



んっ…

んっ

んっ

ん…



もしも…もしも
そいつとエロいこと
するようになったら…

あっ!?



あんなナリして…
桐乃はきつと全力で
尽くすんだろう

俺にパンツ見られるだけで
うろたえて…
カ●ピアンコム見ただけで
泣いちやうくせに…

恋人のためには…全力で
尽くすんだろう…って
そう…思っていた

んっ

ん…

んっ

ん…ん!

んっ

んっ!



桐乃…

!!?

ちゅっ

俺の妹がこんなに
可愛いわけがない



すっげえ
気持ち良いよ
……もう……
出さやうさうだ……

はぁ…

はぁ



いいよ……
イクて……
京介……

……

はぁ

はぁ

はぁ…



は…ひっ!?

あ…あっ

〜…

アッ

アッ

アッ

アッ



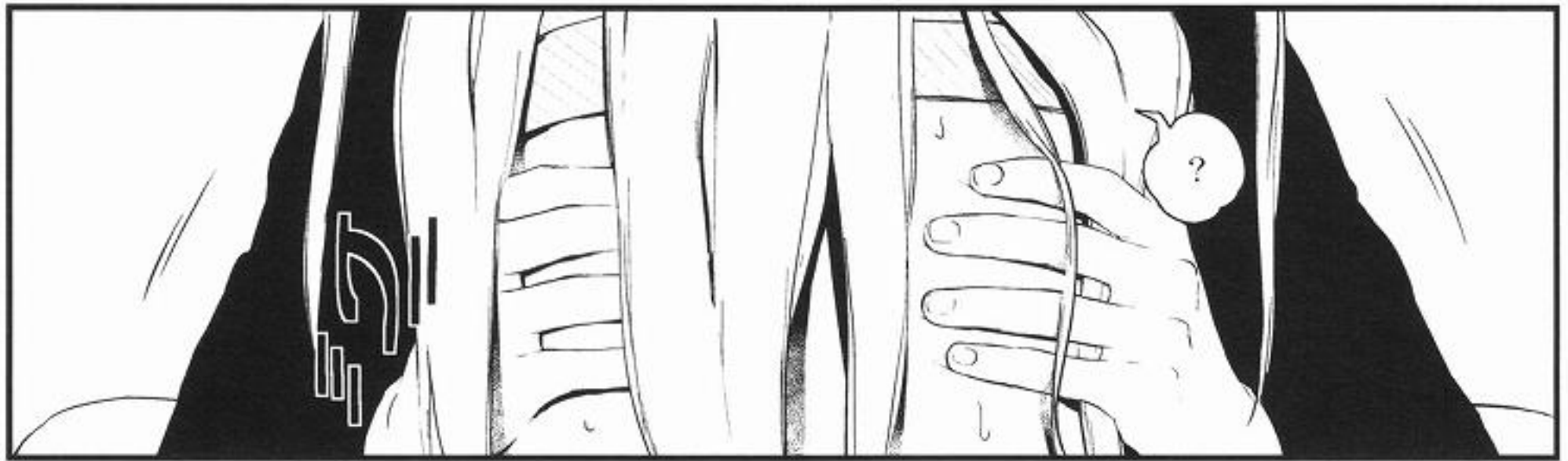
何度も胸の中で呟いてきた
誰に向けたわけでもない
照れ隠しのひとこと…
それに今の素直な気持ちを
上乘せして—



俺もちょっとは桐乃に対して
積極的になろうって決めたんだ
想ったことはそのときに
伝えておかねえとな
もう…すれ違いたくはないから…

んっ
京…介え

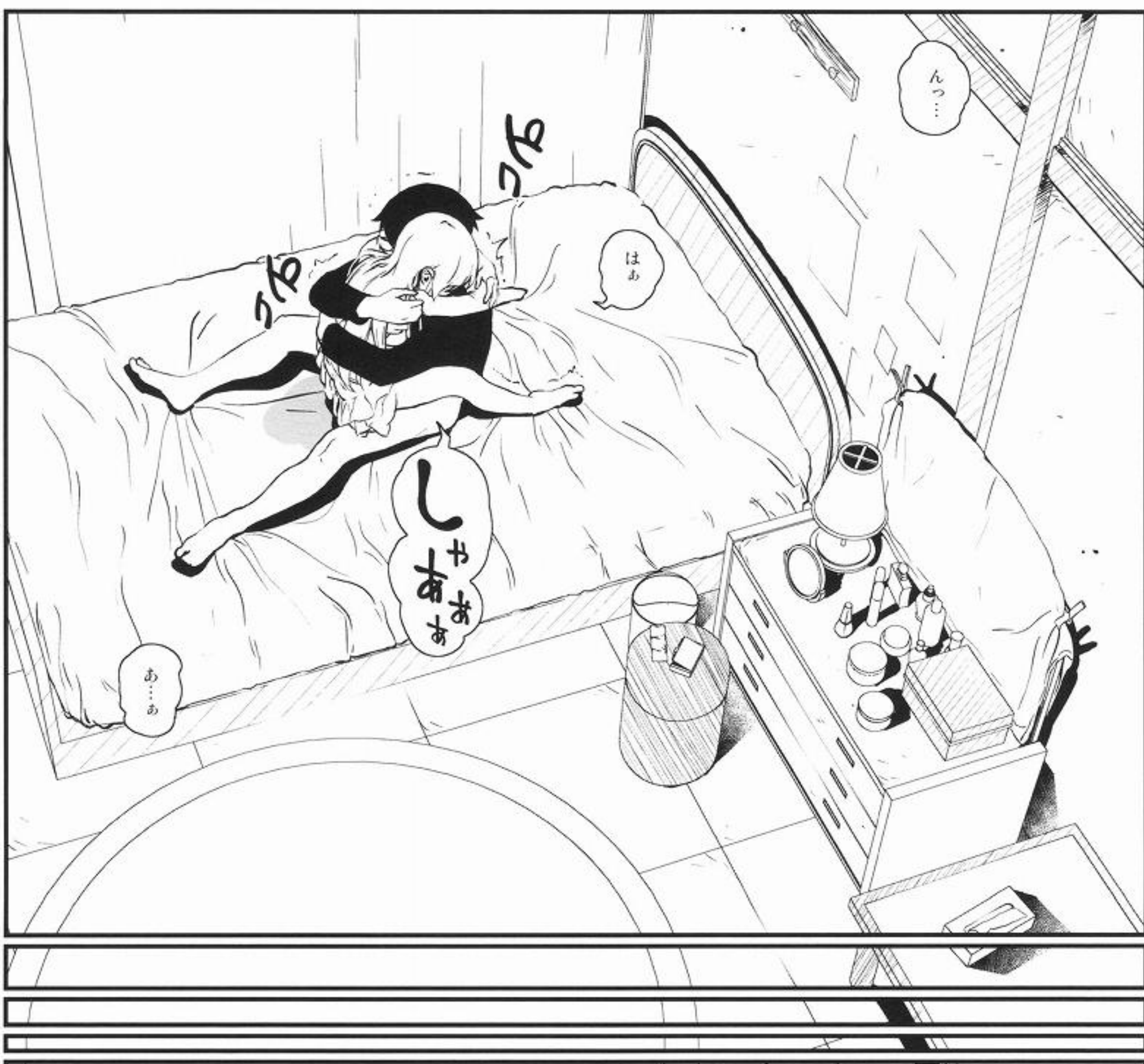
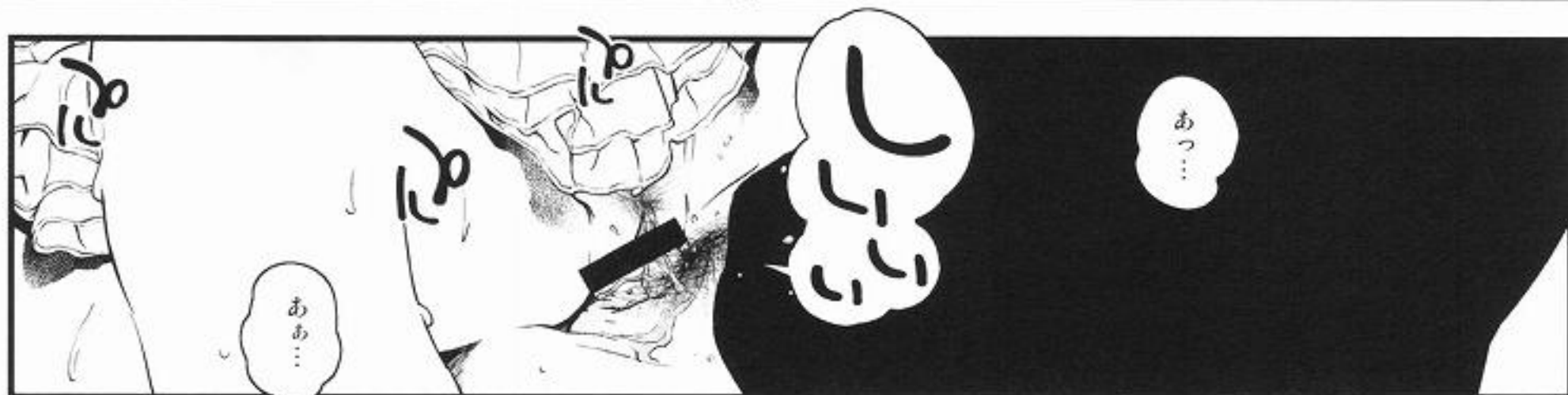
はっ!

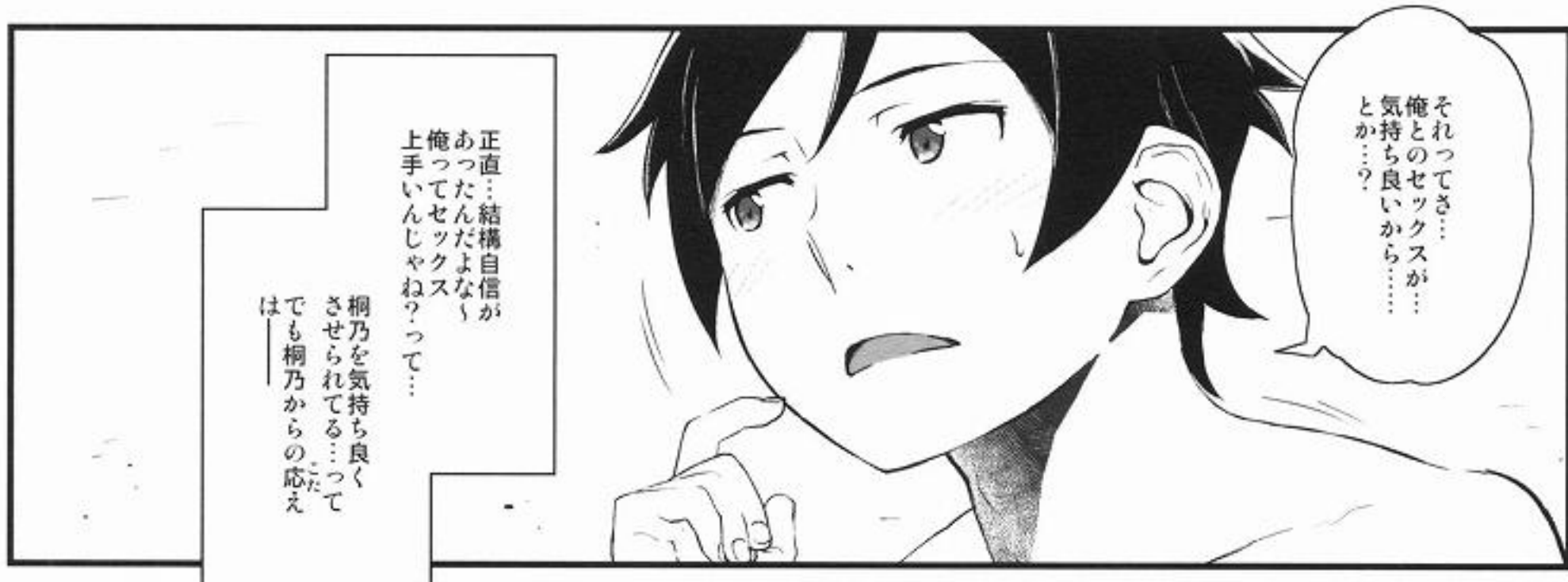
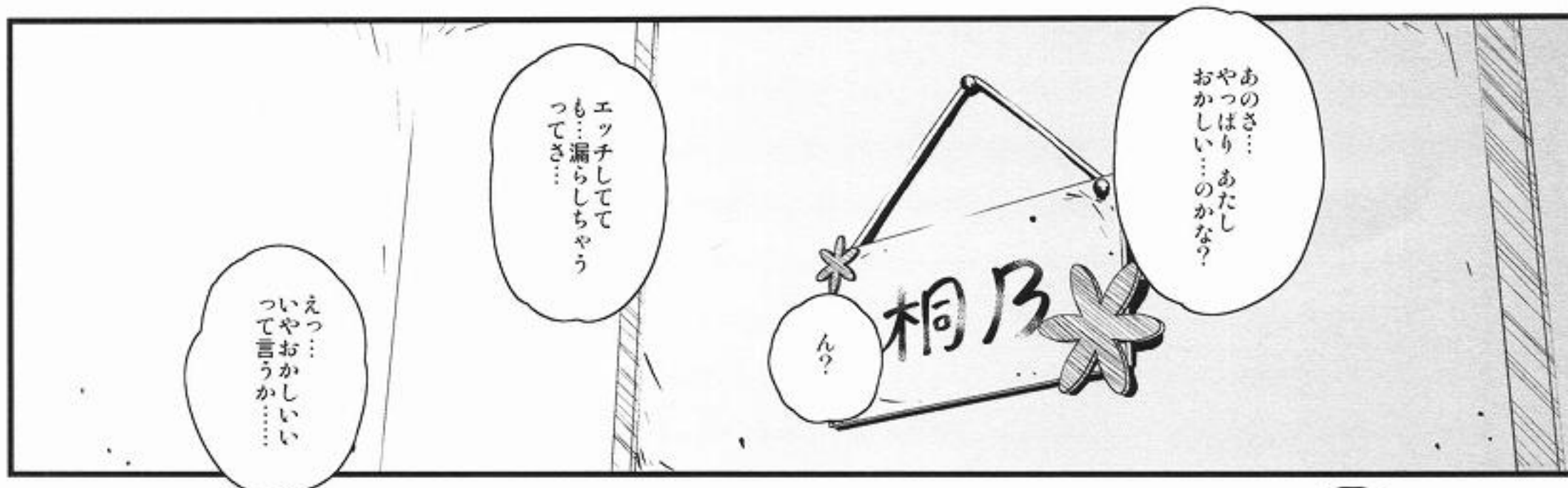
















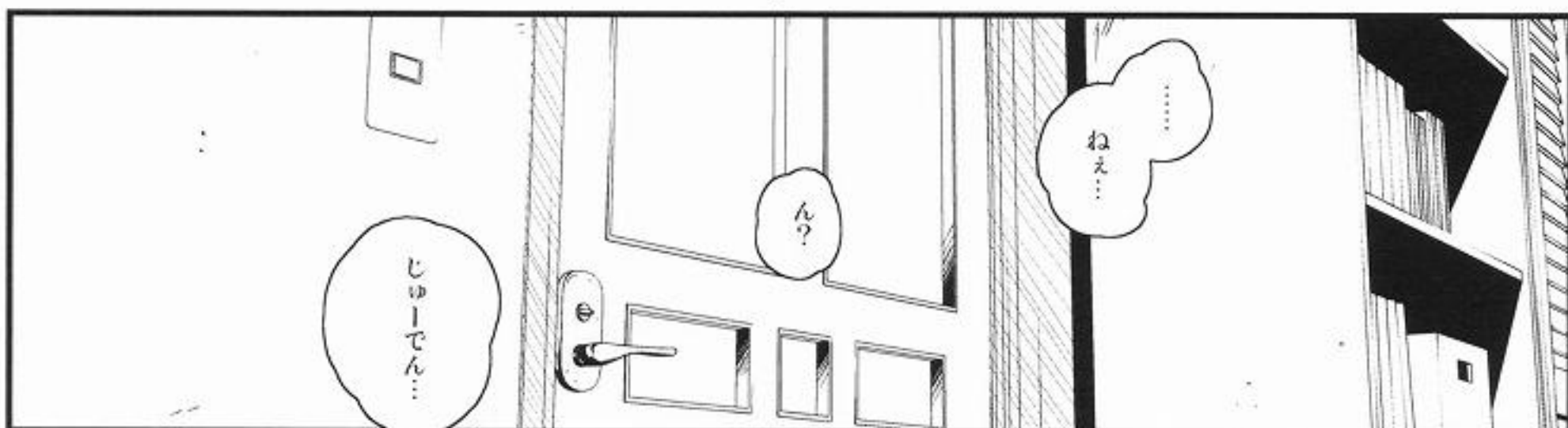
何度も心を乱されて... その積もり積もった感情は 俺に自覚させたんだ 桐乃への本当の想いを...

告白して... 付き合つて... 終いにはセックスまで しちまった

『後悔してねえ』 なんて言つたけど 実際は自分の選択が間違つて ずつと悩んでたんだよ...

でも... 桐乃のこの言葉が全てを 肯定してくれた... 俺は桐乃を幸せに 出来ている









お互い一線を越えないようにって
暗黙の了解みたいなのがあったん
だらうな……
俺たちは……兄妹だから……

それなのに……
桐乃は最後の最後で自ら
それを破ってしまった……
俺も拒むことができずに結局……




明日にはこの関係がバレて
終わってしまうかもしれない
兄妹として一緒にいることすら
できなくなるかもしれない
そんなとこまで来ちゃった

でも俺たちはここまで来て
ようやく少し……素直になれたんだ
今まで出来なかった甘い
イチヤイチヤを出れるくらいには……



イチヤイチヤの詳細については
皆の想像に任せる……
一部始終全てを晒したら
俺と桐乃は恥ずかしすぎて
死ぬるからな……

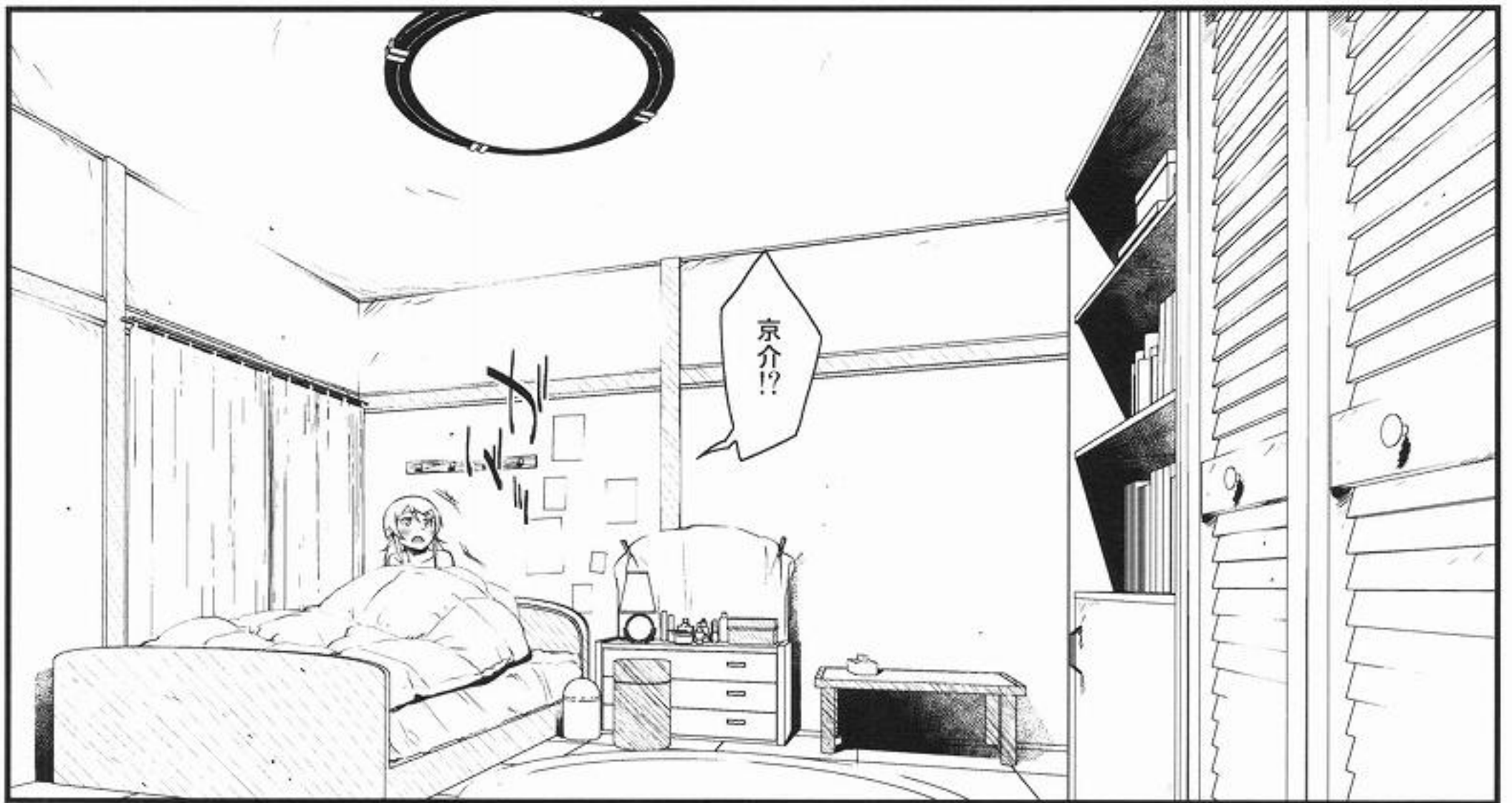
ただ語り部として
ほんの少しのやり取りは
教えてやろう



会話が途切れ、微かな寝息を
立てはじめた桐乃
「桐乃……寝ちゃった……」
そう問いかけ
ベッドを離れようとした俺に
桐乃はこう返してきた

「ねえ……京介……
夢の中でも一緒に
居てくれる……？」

それを聞いた俺がなにを想い……
なんて応えたかは……
もう言うまでもないことだろう？

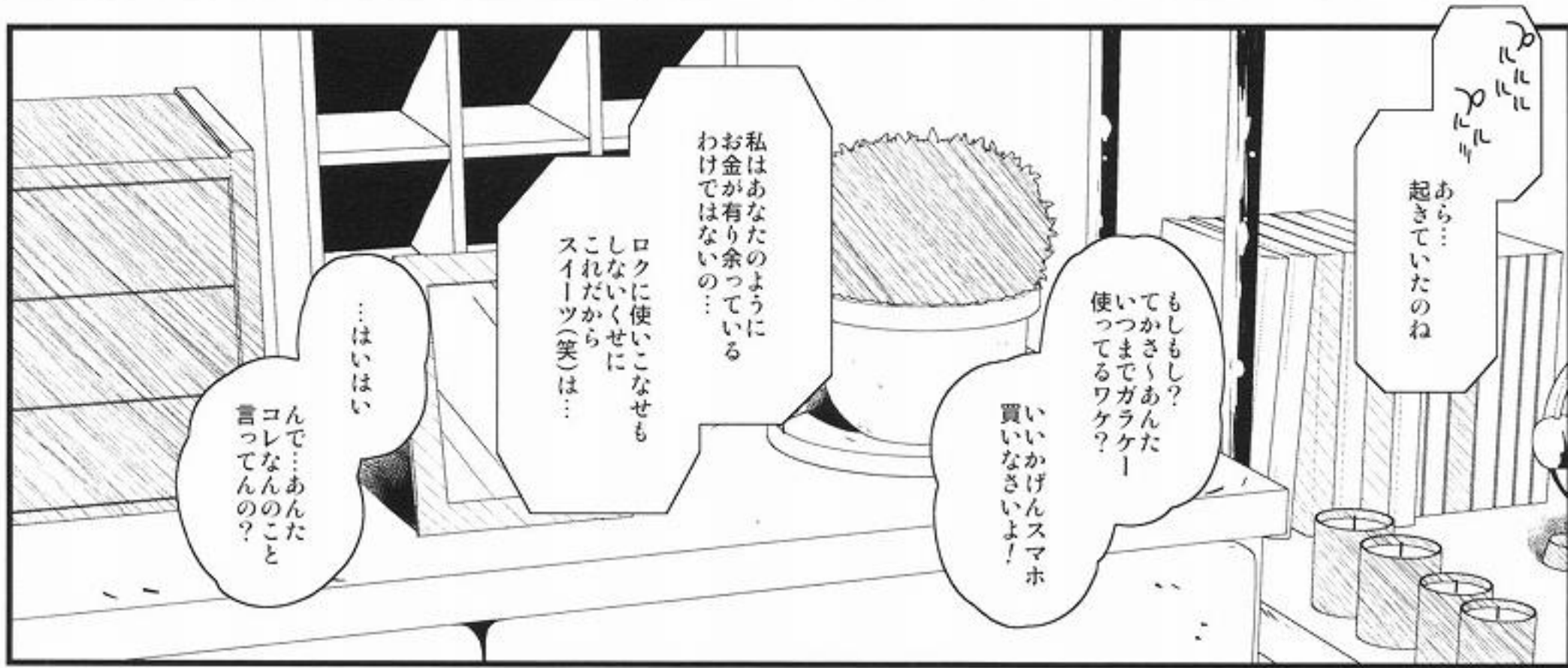




…って
…は？
…ウソ？



黒猫から…



あら…
起きていたのね

もしもし？
てかさくあんた
いつまでガラケー
使ってるワケ？

いいかげんスマホ
買いなさいよ！

私はあなたのように
お金が有り余っている
わけではないの…

ロクに使いこなせも
しないでくせに
これだから
スイーツ(笑)は…

…はいはい
んで…あなた
コレなんのこ
言ってるの？



あなたと…京介が
別れたというウソの

!!!



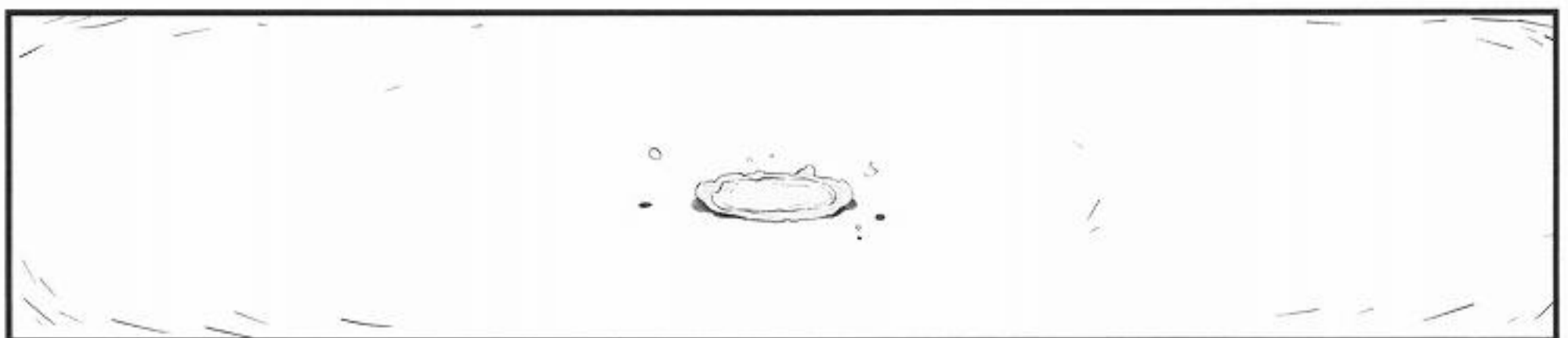
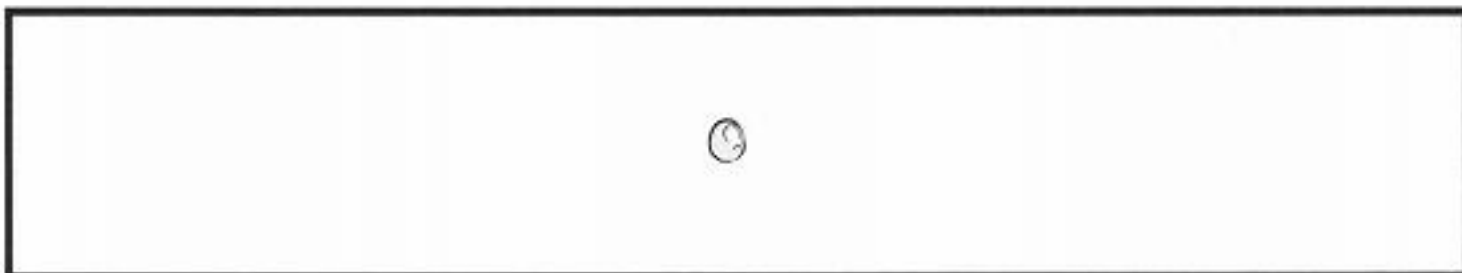
質問に質問で
返さないで頂戴…
私は理由を
聴いているのよ



…ッ
は!?
ウソじゃないし…
別れたったじゃん

あなた自分がどれだけ
ウソをつくことが下手なのか
良い加減自覚した方が

毎度毎度…
バレバレなのよ
あなたのウソは…



星くず☆ナミダ③

発行日:2014.4.29

発行:†NIL†

発行者:フジバヤシ春

印刷所:ねこのしっぽ

MAIL>>> hal.0.fujibayashi@gmail.com

ore no imouto ga
konnani kawaii
wake ga nai
nijisousaku
doujinshi
hoshikuzu namida

